

平成2年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡)

関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成2年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成3年9月6日、日本教育会館において開催した。

本年度供試された冬作関係除草剤は、作用性試験12剤、適用性試験35剤、生育調節剤は、適

用性試験2剤であった。

このうち、適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成2年度 冬作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A. 除 草 剤

I. 小 麦

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. AKR-7012 水和 ・ジクロベニール……30% ・ジフルフェニカン……4%	「実・継」	一年生雑草全般	土 壌	播 種 後 小麦2～3葉期	20～25 g	全 土 壌 (砂土を除く)	温 暖 地 (畑作, 水田裏作) 寒 冷 地 温 暖 地 (畑作, 水田裏作)		・地域拡大. ・効果の再確認.
2. DPX-16 顆粒水和 ・チフェンスルフロメチル ……75%	「実・継」	一年生広葉雑草およびスズメノテッポウ	茎 葉	麦4葉～節間伸長前, スズメノテッポウ4～5葉まで	0.5～1.0 g	全 土 壌 (砂土を除く)	温暖地以西(畑作, 水田裏作)	1) 体系処理: 土壌処理剤との体系処理で使用する. 2) 単用処理の場合は0.75～1.0 gでの使用が望ましい.	・地域拡大.
3. Hoe-113 フロアブル ・フェノキサプロップエチル ……60 g/l	「実・継」	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	茎 葉	スズメノテッポウ3～5葉期	15～20 g	全 土 壌 (砂土を除く)	温暖地以西(畑作, 水田裏作)		・薬量について. ・効果の再確認.

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処 理 法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
4. HOK-15① 細粒 ・ D B N …… 1.0 % ・ D C M U …… 0.5 %	「実・継」 (従来どおり)	一年生雑 草全般	土 壌	小麦 2 ～ 3 葉期, スズメノ テッポウ 1.5 葉期 まで	500 ～ 600 g 400 ～ 500 g	壤土～埴 土	寒 冷 地 (畑 作)	1) 砕土, 整地, 覆 土をていねい に行って均一散布 に留意する. 2) 冬期寒冷の年 には, 600g/a で 薬害の危険性 があるので注意 する.	・ 地域拡大.
							温 暖 地 (水 田 裏 作)		
5. KUH-904 乳 ・ ベンチオカー ブ…………50% ・ リニュロン …… 7.5 %	「継」								・ 効果, 薬害の 検討, 初年目.
6. KUH-904 細粒 ・ ベンチオカー ブ…………8% ・ リニュロン …… 1.2 %	「継」								・ 効果, 薬害の 検討, 初年目.
7. NC-323 水和 ・ ピラゾスルフ ロンエチル ………… 2 % ・ ペンディメタ リン…………50%	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後 小麦 1 ～ 2 葉期, イネ科雑 草 1 葉期	15～18g	全 土 壌 (砂 土 を 除 く)	寒冷地以 西(畑作, 水田裏作) 温暖地以 西(畑作, 水田裏作)	1) 砕土, 整地, 覆 土をていねい に行って均一散布 に留意する.	・ 地域拡大. ・ 薬量について 再検討.
8. プロジアミ ンフロアブル ・ プロジアミン …………41%	「継」								・ 効果, 薬害の 検討, 初年目.
9. RSH-44 乳 ・ ジフルフェニ カン…40 g/l ・ トリフルラリ ン… 400 g/l	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後 小麦 2 ～ 3 葉期	15 ～ 25 ml 20 ～ 25 ml	全 土 壌 (砂 土 を 除 く)	寒地(畑 作) 寒 冷 地 温 暖 地 (畑 作 , 水田裏作) 寒 冷 地 (畑 作)	1) 砕土, 整地, 覆 土をていねい に行って均一散布 に留意する.	・ 地域拡大.

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/㍔	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
10. RSH-44 粒 ・ジフルフェニ カン…0.2% ・トリフルラリ ン………2%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。
11. トリフルラ リン2.5 粒 ・トリフルラリ ン………2.5%	「実・継」 (従来どおり)	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後	400 ～ 500 g	砂壤土～ 埴土	寒冷地北 部(畑作) 寒冷地南 部以西 (水田裏 作)	1) 碎土、整地、覆 土をていねいに 行って均一散布 に留意する。 2) 排水不良田では 効果が劣る場合 があるので注意 する。	・地域拡大(寒 地における効 果、薬害の検 討)。
12. Hoe-86610 液 ・ゲルホシネー ト… 100 g/㍔	「実・継」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	50 ～ 75ml/	全 土 壌	温暖地東 部(畑作、 水田裏作)	1) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	・地域拡大。 ・効果、薬害の 検討。 ・効果の再確認。
13. Mon-8794 液 ・グリホサート ………20%	「実・継」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	30 ～ 50ml/ (水量2.5 ～5 l)	全 土 壌	寒冷地以 西(畑作、 水田裏作)	1) 少量散布の場合 は専用ノズルを 使用する。 2) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	・地域拡大。 ・効果の確認 (特に少量散 布について)。
14. MW-851 液 ・ピアラホス ………18%	「実・継」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	30 ～ 50ml/	全 土 壌	寒 冷 地 温暖地東 部(畑作、 水田裏作)	1) 周辺作物に飛散 しない様に注意 する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。
15. SC-224 液 ・グリホサート トリメシウム 塩………38%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。
16. CAT 顆粒性水和 ・CAT…50%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。
17. CG-157C AT 顆粒性水和 ・CG-157(未 公開) … 1% ・CAT…25%	「継」								・効果、薬害の 検討。

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
18. NY-712 水和 ・ピリデート ……40%	「実」	一年生広 葉雑草(ミ チヤナギ を除く)	茎 葉	広葉雑草 2～3葉 期 (但し、 寒冷地 は小麦 2～3 葉期)	20～30g	全 土 壌	寒冷地以 西(畑作、 水田裏作)	1) 体系処理: イネ 科雑草に有効な 既登録除草剤と 組合せて使用す る。	
19. KPP-300 乳 ・未公開(新規 化合物) ……10%	「継」								・成分未公開。 ・効果、薬害の 検討, 初年目。
20. PL-10 細粒 ・ベンディメタ リン…1.5% ・リニュロン ……1.0%	「継」								・効果、薬害の 検討, 初年目。
21. Hoe-032 顆粒水和 ・未公開…20%	「継」								・成分未公開。 ・効果、薬害の 検討, 初年目。

II. 大 麦 類

薬 剤 名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/á	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
1. AKR-7012 水和 ・ジクロベニー ル……30% ・ジフルフェニ カン……4%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。
2. NC-323 水和 ・ピラゾスルフ ロンエチル ……2% ・ペンディメタ リン……50%	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後 大麦1～ 2葉期、 イネ科雑 草1葉期	15～18g	埴土～埴 土	温暖地以 西(畑作、 水田裏作)	1) 対象：二条大麦、 六条大麦、裸麦。 2) 砕土、整地、覆 土をていねいに行 って均一散布 に留意する。	・土壌の拡大。 ・地域拡大。 ・薬量について 再検討。
3. RSH-44粒 ・ジフルフェニ カン…0.2% ・トリフルラリ ン……2%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。

薬 剂 名	判 定	使 用 基 準							継 の 内 容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用量の注意	
4. CAT 顆粒性水和 ・CAT…50%	「継」								・効果、薬害の 検討、初年目。
5. RSH-44乳 ・ジフルフェニ カン…40g/l ・トリフルラリ ン…400g/l	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後	20 ～ 25m/l	全 土 壌 (砂土を 除く)	寒 冷 地 温 暖 地 (畑作、 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦. 2) 碎土, 整地, 覆 土をていねい に行って均一散布 に留意する.	・地域拡大.
6. Hoe-866 液 ・グルホシネー ト…18.5%	「実」	一年生雑 草全般	茎 葉	耕起前7 ～14日	30 ～ 50m/l	全 土 壌	寒 冷 地 西(畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦. 2) 周辺作物への飛 散に注意する.	
7. BAS-3510 (Na) 液 ・ペンタゾン (Na)…40%	「実・継」	一年生広 葉雑草	茎 葉	広葉雑草 3～6葉 期	10 ～ 20m/l	全 土 壌	寒 冷 地 西(畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦. 2) 体系処理: イネ 科雑草に有効な 既登録除草剤と 組合せて使用す る.	・効果の再確認 (寒冷地南部).
8. KPP-300 乳 ・未公開(新規 化合物) ……10%	「継」								・成分未公開. ・効果、薬害の 検討、初年目.
9. DPX-16 ドライフロ アブル ・チフェンスル フロメチル ……75%	「実・継」	一年生広 葉雑草お よびスズ メノテッ ポウ	茎 葉	大麦4葉 ～節間伸 長前, ス ズメノテ ッポウ4 ～5葉期 まで	0.5 ～ 1.0 g	全 土 壌 (砂土を 除く)	寒 冷 地 西(畑作, 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦. 2) 体系処理: 土壌 処理剤との体系 処理で使用する. 3) 単用処理の場合 は0.75～1gで の使用が望まし い.	・効果の確認.
10. PL-10 乳 ・ペンディメタ リン…15% ・リニュロン ……10%	「実・継」	一年生雑 草全般	土 壌	播 種 後	50 ～ 80m/l	全 土 壌 (砂土を 除く)	温 暖 地 (畑作、 水田裏作)	1) 対象: 二条大麦, 六条大麦, 裸麦. 2) 碎土, 整地, 覆 土をていねい に行って均一に散 布する. 3) ヤエムグラに効 果劣る場合があ る.	・暖地への土壌 拡大.